

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 19 日

所属	政策情報学部	職名	准教授	氏 名	坂本 旬
研究課題	日本における企業／企業家による文化・芸術関連活動と文化創出の歴史的展開				
研究キーワード	企業メセナ、フィランソ ロピー、アート・マネジ メント、CSV、企業家精神	当年度計画に対す る達成度		3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を 達成したが、一部に遅れ等が発生した	
関連する SDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	8. 働きがいも経済成長も	12. つくる責任 つかう責任	16. 平和と公正をすべての人に	

1. 研究成果の概要

本研究ではまず、企業や企業家による文化・芸術関連活動に注目し、個別企業による文化・芸術活動の歴史的展開や、そうした活動を牽引してきた企業家の行為やその背景にある思想、企業家精神について、先行研究の整理を中心に行った。ここでは特に、企業あるいは企業家が文化・芸術に関わる活動を行うなかで、社会において文化創出という点でどのような役割を担っているか、また、そうした活動が、企業そのものが有する文化にどのような影響を与えるかといった、企業による文化・芸術活動と企業文化、そして社会との有機的なつながりという点に注目して検討した。また、19 世紀後半にイギリスでおこった、ジョン・ラスキンやウィリアム・モリスらによるアーツ・アンド・クラフト運動や、それを主導したモリス商会の事業活動や企業家精神に関する先行研究整理を併せて行うことで、文化・芸術関連活動における企業家精神の相違や共通点、日本におけるアーツ・アンド・クラフト運動の受容や企業家に対する影響についても検討を加えた。

2023 年度においては、上記の先行研究整理に加えて、国際比較の観点から企業による文化・芸術関連活動の検討を行うことで概ね順調に進展したものの、これらをふまえたより詳細な実証研究には至らなかった。こちらについては、理論的な検討を継続しつつも、企業資料館の訪問や資料調査を重ねることで、多様な資料を用いた実証研究を行い、論文の執筆を行う。

2. 著書・論文・学会発表等

特になし

3. 主な経費

関連書籍や資料の購入に使用した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

基盤研究（C）：2018 年～2023 年、分担、「企業の多角化とメディアミックスの経営史：日本クリエイティブ産業企業の比較研究」（18K01769）

（本文は 2 ページ以内にまとめること）